

審査結果報告書

平成 27 年 2 月 10 日

主 査 氏 名 廣畑 村雲 芳樹 (印)

副 査 氏 名 廣畑 俊成 (印)

副 査 氏 名 赤 尾 透 (印)

副 査 氏 名 岩村 正嗣 (印)

1. 申請者氏名 : DM10025 中村 和徳

2. 論文テーマ :

Comprehensive Real time PCR system for glycogenes (CRPS-G) identified aberrant methylation of GCNT2 tightly related to lymph node metastasis of primary CRC (包括的糖鎖遺伝子定量 PCR システムを用いて同定した大腸癌におけるリンパ節転移関連遺伝子 GCNT2 とメチル化異常)

3. 論文審査結果 :

大腸癌の予後、進展に関わる糖蛋白の同定を行った研究である。糖蛋白をコードする GCNT2 遺伝子の発現が、転写開始点周辺の CpG アイランドのメチル化と関係しており、癌組織及び周囲正常組織での GCNT2 遺伝子 CpG アイランドのメチル化が低い場合に、予後が悪いことを明らかにした。学位審査会にて、以下の点について討論した。

1. 最初は癌で発現の低い遺伝子を同定したが、進行癌では CpG アイランドのメチル化の低下により発現が上がることになる。そのメカニズムの説明が必要。
2. CpG アイランドのメチル化と遺伝子発現のとの関連のエビデンスが弱いため、臨床検体でもメチル化と遺伝子発現の関連の検討が望ましい。
3. 蛋白レベルでの GCNT2 の発現解析が必要。
4. 正常粘膜での GCNT2 遺伝子の発現がどのように大腸癌の進展に繋がるのか、さらなる検討が必要。
5. 今後の研究の展開について

研究結果の解釈から結論を導き出す点において、少々理論的に飛躍している点があり、まだまだ多くの検討課題が残っているが、研究の発想とここまでの結果、将来の展望等の点を評価し、博士の学位に値する研究であると決定した。